

## 音楽教室

子供達が幼稚園の頃から、ピアノ音楽教室に通わせた。無理に行かせたのではなく、習いたいと言いだしたのである。

妻が二人を連れて街に出たとき、ピアノがある店でキーを押すとポンと鳴るのを面白がって、傍を離れなかつたぞつだ。ピアノと言えば女の子が多い。今考えるとあの当時は小さな店で生活が楽でないのに、子供たちがやりたい事は殆んど習わせた。音楽教室、ソロバン教室、絵画教室、書道教室、カブスカウトから、ボウイスカウトなど、自由に参加させていた。

親が口出ししなくとも、日時は心得ていて、一人で用意して出かけていく。音楽教室は東岡幼稚園でヤマハ音楽教室が開かれている。市内の主だった場所を借り多くの会場があった。

洋一は東岡幼稚園に通って居たから便利だが、一朗は東仙台のナザレト幼稚園(カトリック系)に市営定期バスで通っていた。一朗が音楽教室に通うのは、日曜日だったから良かったのだらう。先生は伊藤れい子さん。ピアノの練習だけでなく音符を理解させる為、作曲も教えていたようだ。洋一は作曲の勘がよいと褒められ、それをピアノ弾いて皆に聞かせたと話していた。幼稚園から中学生まで、ボーイスカウトや好きな習い事をしていたので、あまり上達しなかつたようだ。

小村崎には頂いた高価な電子ピアノがあったが、来ると何気なし、知っている曲を弾く。幼いときの感性で自然に指が動くのだらう。一朗は大学に入って、「ピアノを習わせて貰ってよかった、大学に入っても役に立った」と話して呉れた。

